

体験活動を通して学ぶ

校長 松元 伊知郎

10月10日(土曜日)に行われた稲刈り・落ち穂拾いへのPTA環境整備部の皆さんを中心にした御協力ありがとうございました。

今年は、時間を短縮し「3密」を避けるために上学年と下学年を完全に分けて実施するなどの工夫をしました。1学期に「田植え」、2学期当初に「かかし作り」、そして今回の「稲刈り」、子供たちにとってとても貴重な体験活動となりました。私たちの食卓にお米が運ばれてくる前にどんな作業が行われているか身をもって学べるのはよいことです。転入生や1・2年生の中には初めて稲刈りをした子もいました。

さて、吉田小の周辺には水田や用水路も多く、昔からおいしいお米がとれることで知られています。また、畑ではキュウリ、にがうり、さつまいも、里芋、ニラなども栽培されています。地域でとれるおいしい野菜が学校給食の食材として活用されています。郷土の大先輩たちから脈々と受け継がれてきたものです。



「子供は地域で育てられる」と言われます。地域には、厳しい人生を生き抜いてこられた先輩も多くおられます。考え方や生き方の異なる同世代の大人もいます。「地域で育てられる」ということは、先日の稲刈りのような体験活動を通して大人から多くのことを学ぶということです。時には叱られ、時には褒められ、また、地域の行事や活動に加わる中で、体験を通して人として大切なことや伝統・文化を受け継いでいくのです。「子供は、親の言うとおりににはならないが、親のするとおりににはする」という言葉があります。いつの時代でも、子供はつらく悲しいことに免疫がありません。滅入る、落ち込む、体験が乏しいので当然のことです。人生には、嬉しいことや悲しいことがあります、悲しいことの方が遥かに多いのです。そんな時、身近に悲しみや喜びを分かち合ってくれる人がいたら、どんなに心強いことでしょうか。良いこと悪いことすべて、大人は子供の手本です。教科書です。

地域の大人の目の中で、学校や家庭では教えられない大切な「何か」を手にし、子供たちは大きく育っていくのです。

今年は、吉田の伝統的な行事である東西会十五夜祭り・綱練りが残念ながらできませんでした。来年は、ぜひとも復活することを願っています。

小・中合同運動会

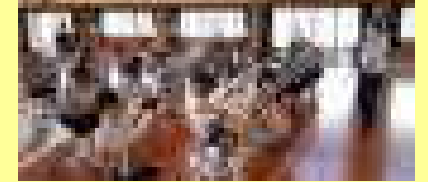
9月20日(日)第13回小・中合同運動会は、晴天に恵まれ、児童・生徒が練習の成果を存分に発揮した運動会となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために、7月から様々な課題について協議し、方針を決定してきました。決定した方針通りになるのか、とても心配でした。しかし、小中学校の職員、保護者、地域の皆様の御理解と御協力により、大きな運動会となりました。誠にありがとうございました。



「応援合戦」

よむのび教室

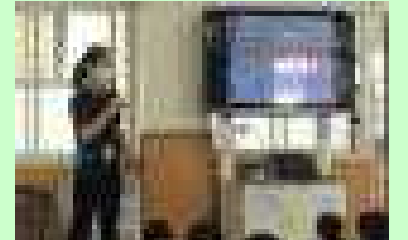
10月5日(月)南日本新聞社読書センターの谷上英文様を講師としてお招きし、「新聞の読み方」について、5・6年生が学習しました。豊富な御経験や様々な視点からのお話により、子供たちは真剣に聞き入っていました。



「新聞の読み方を学びました」

避難訓練

9月29日(火)不審者対応避難訓練がありました。鹿児島市役所安心安全課の講師の方々が、不審者に出会ったときどうすればよいかを事前に確認して、訓練を行いました。子供たちは訓練と分かっているにもかかわらず、緊張した様子で避難していました。避難が終わった後に講師のお話があり、最近、不審者の事案が多いので、防犯ブザーの携帯をするように呼びかけました。



「いかのおすしを確認しました」

入賞おめでとう

第24回伊藤園お〜い茶新俳句大賞  
佳作 6年 KKさん  
とびばこの 後ろの季節 秋になる

11月

主な学校行事

12月

- 1日(日) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間
- 2日(月) 学習活動フリー参観 小中連携授業参観週間(～6日)
- 3日(火) 文化の日(祝日)
- 4日(水) 秋祭り(給食試食会は中止)
- 5日(木) 陸上記録会
- 10日(火) 避難訓練(火災想定)
- 14日(土) 土曜授業
- 15日(日) 学習発表会(餅つき大会中止)
- 16日(月) 振替休日
- 23日(月) 勤労感謝の日(祝日)

- 4日(金) 校内人権週間(～10日)
- 8日(火) 校内持久走大会 学級PTA
- 9日(水) 小中交流タイム
- 10日(木) 人権教室
- 12日(土) 土曜授業
- 24日(木) 終業式
- 25日(金) 冬季休業日(～1/7)

※ 変更する場合があります。御了承ください。

【連絡】  
☆ PTA新聞(令和2年度春・夏号)に修正箇所がありましたので、再配布します。